

事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年 04月 14日

事務事業名	ふるさと寄附金事務				担当	総務部 企画課 財政係					
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり					電話番号	0285-83-8104			
施策名	4	財政の健全化					<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業			
基本事業名							事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	地方税法 真岡市ふるさと寄附条例 真岡市ふるさと寄附条例施行規則 真岡市ふるさと基金条例							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成20年度~)			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	6.企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・真岡市を愛し、応援しようとする個人又は団体から寄附を募り、これを財源として各種事業を実施し、個性豊かな活力ある地域づくりに資する。 ・寄附金は、真岡市ふるさと基金条例に基づく基金により管理し、運用する。 ・寄附者には、礼状と真岡市の特産品を儀礼の範囲内で送付する。 ・真岡市ふるさと寄附台帳により寄附の状況を管理するとともに、毎年度、運用状況を公表する。 										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 25年度実績 ・市ホームページによるPR(通年) ・首都圏観光キャンペーンや各種イベントでのパンフレット配布	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移							
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
26年度計画 同上	ア:パンフレット配布回数	回	2	2	2	3	4	
	イ:							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・全国の市町村民税の納稅義務者	ウ:							
	エ:							
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・ホームページの充実やPR活動の推進による寄附金の確保	オ:							
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移							
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) ・ふるさと基金の活用による各種事業の推進	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
	ア:市町村民税納稅義務者数	人	54,773,740	54,682,444	54,849,689	55,353,694		
⑤事業費の推移	イ:							
	ウ:							
⑥上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	エ:							
	オ:							
(2) 総事業費の推移		名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	5	8	9	17	0
	事業費計(A)	千円	5	8	9	17	0	0
人 件 費	正規職員従事人數	人	1	1	1	1	0	0
	延べ業務時間	時間	20	20	20	20	0	0
	人件費計(B)	千円	85	85	84	81	0	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	90	93	93	98	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		・平成20年4月30日に地方税法の一部が改正され、ふるさとに対し貢献、または応援したいという納稅者の思いを実現するために始まった。						
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		・近年は全国的にも、ふるさと寄附金の獲得を優先する余り、謝礼品の内容や金額が過剰となる傾向にあり、本来のふるさと寄附金の趣旨から掛け離れたケースも見受けられる。						
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		・議会の一般質問を通じて、寄附金獲得のため積極的なPRや、真岡産のイチゴや米など謝礼品の充実に取り組むよう要望が出ている。						

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・寄附金の確保により、事業の推進が図られる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・地方税法に基づくものであり、財源が確保できる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・市ホームページ等を通じて、多くの対象者に情報を発信している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・謝礼品に市の農産物（イチゴ、メロン、米等）を加え、内容の充実を図る。但し、謝礼品の金額は、儀礼の範囲内とする。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・財源が減少する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・寄附者に対する謝礼品代と職員による管理事務である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・ふるさと寄附金の管理事務に必要な人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・受益者負担の対象外の事務である。

3. 改革・改善方向の部

（1）改革の方向性（改革案・実行計画）

- 廃止 見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性） 統合 継続
・謝礼品に市の農産物を加えるなど、内容の充実を図り、寄附件数及び金額の増加を目指す。

（3）改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

（2）改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

- ・季節に合った農産物を、寄附者の希望を把握して贈るようにする。

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

（1）1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

（2）2次評価者としての評価結果

- | | |
|---|---|
| ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |

（5）改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

（3）2次評価者として判断した今後の事業の方向性

- 廃止 休止 目的絞込み 目的拡充
 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

（4）その他2次評価会議で指摘された事項